年度 2007 学期 後期 曜日·校時 金 3 必修選択 必修 単位数 授業科目/(英語名) 総合英語 Comprehensive English 対象年次 1年次 講義形態 教室 演習 対象学生(クラス等) Th 科目分類 外国語科目(英語)

担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー

担当教員: 藤本 ゆかり /研究室: 非常勤講師控室

/オフィスアワー: 金曜日4校時

担当教員(オムニバス科目等)

授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標

授業のねらい: 新TOEICテストで500点を目指し、さらに、英語の実用的な運用能力を高めることを目的とする。練習問題を通して、リスニング・スピーキング・ライティング・会話・長文読解の能力の基礎を養成し、或いはさらにそれらの技能を伸ばしていく。語彙力の強化、文法・語法の知識の理解度を深め、定着を図る。英語の語順で英語を理解することができるようになる。TOEICテストに関して、各自で目標を定め、学習意欲を高める。

授業方法: CD を用いながら進めていく。会話を通しての文法の知識、実用的な表現の習得法、書き取りとりスニングについて、語彙力強化として問題の解説、長文問題の読解の方法や技術の説明を指導する。ライティングとスピーキング、及びリーディング(読解)とりスニングは、同じ性質の能力を要する活動であるとの認識の基に、訓練をしていく。

授業到達目標: リスニング力とスピーキング力を鍛え、英語運用能力の基礎を養成することができる。訓練により、与えられたダイアローグの会話を発展させ、リスニングとライティングの能力を向上させることができる。文法・語彙問題を解き、文法・語法の知識を確認・強化することができる。音声 CD と長文読解問題を組み合わせ、英語の語順で英語を理解するトレーニングが可能となり、リスニング力の向上を同時に図ることができる。新 TOEIC テストで確実に 500 点を突破し、さらに 600 点以上をねらうための重要単語・熟語を、語彙問題や詳細な解説を通して、効率よく学ぶことができる。

授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む)

授業内容(概要) この授業では、新 TOEIC テストの Part 5, 6, 7 のリーディングセクションに対応して、総合的な英語能力の向上を目指す。Conversations においては、表現や語法の詳細な解説を行い、英文を作り上げ、聞き取る方法の指導を行う。これはまた、CD を聴きながら行われるが、書き取り(ライティング)、リスニングの技能を磨くこととなる。この時、声を出して英文を言う練習をする。発音、スピーキングとリスニングの技術について、指導を行う。単語について説明し、語彙力の強化を図るとともに、予め解いてきたテキストの問題を解説する。長文問題の解き方を指導する。英語能力の習得方法について、疑問に答えていく。

第1回	導入	新 TOEIC テストの説明 Unit 1 Job Hunting
第2回	Unit 1	Job Hunting
第3回	Unit 2	Job Interviews
第4回	Unit 3	Company Information, Department Names
第5回	Unit 4	Job Titles and Responsibilities
第6回	Unit 5	Around the Office
第7回	Unit 6	Products and Services
第8回	Unit 7	Meetings and Conferences
第9回	Unit 8	Business Performance
第10回	Unit 9	Promotions and Salaries
第11回	Unit 10	Travels and Hotels
第12回	Unit 10	Travels and Hotels
第13回	Unit 11	Banking and Shopping
第14回	Unit 11	Banking and Shopping
第15回	定期試験	

第1回の授業で、新TOEIC テストの紹介と案内を、旧テストと比較しながら、行います。各自で目標を定め、試験に挑戦しましょう。

また、必ず予習をして授業に臨んで下さい。予め単語の意味を調べ、各 Unit の問題を事前に解いておきましょう。付録の CDを利用して繰り返し練習し、復習を行うことが、学習効果を上げる為に重要です。大いに活用して下さい。

キーワード	新 TOEIC テストの対策	
教科書·教材·参考書	TOEIC Test Training 500 TOEIC テスト 500 点突破トレーニング (水島孝司 / ロジャー・パティモア : 南雲堂) CD 付き 英和辞書を必携すること。	
成績評価の方法·基 準等	定期試験を筆記で行います。 定期試験 90%、授業中の発表や活動 10% を基準とします。 また、受講中の態度を非常に重視します。	
受講要件(履修条件)	授業には全回出席しましょう。発音など声に出しての活動は、積極的に参加することを期待します。 必ず予習をして臨んで下さい。	
本科目の位置づけ /学習·教育目標	リスニング・スピーキング・ライティングの能力、会話・語彙・文法・読解の技能の強化 新 TOEIC テストの対策	
備考(準備学習等)	必ず予習をして授業に臨んで下さい。 予め問題を解き、疑問点を明らかにしておきましょう。	